

サーバー・セキュリティサービスが築く、信頼と安心を情報発信する

2026.07
vol. 62

NewsLetter

NET ASSIST
24/7 Guardian Deity

TOPICS

NEWS
TOPICS
1セキュリティ要件のチェックからお任せ！
SAKURA自治体入札支援パッケージのご紹介NEWS
TOPICS
2

お客様ポータル「Webマニュアル」公開のご案内

NEWS
TOPICS
3

フロンティアAIについて

※TOPICSの各タイトルをクリックすると該当の記事へ飛びます

NEWS TOPICS 1

セキュリティ要件のチェックからお任せ！ SAKURA自治体入札支援パッケージのご紹介

近年、サイバー攻撃の高度化・巧妙化に伴い、官公庁や自治体向けをはじめとしたWebシステムでは、従来以上に厳格なセキュリティ対策が求められるようになっていきます。特に入札案件では、機能や価格だけでなく、サーバー環境や運用体制、セキュリティ対策についても詳細な要件が提示されるケースが増えており、「要件を満たせる環境をどのように提案するか」が受注に向けた重要なポイントとなっています。こうした背景から、弊社にも入札案件に伴うサーバー環境のご相談をいただく機会が年々増加しています。

皆様の中でも以下のようなお困りごとはございませんか？



入札案件に参加したいが、インフラまわりの提案が難しい

セキュリティ要件に沿った提案に不安がある



AWS・Azureなど外資系クラウドのコスト増加に課題を感じている

このような課題を解決するため、弊社ではサーバーインフラの構成+運用+セキュリティを政府のガイドラインに基づいて設計した、「**SAKURA自治体入札支援パッケージ**」をご用意いたしました。

※「自治体」と名称がありますが、自治体案件以外のシステムでもご利用いただけます。



パッケージ概要



ISMAP認定・ガバメントクラウド採用の国産クラウドを利用

インフラ基盤には、ISMAP認定を取得し、ガバメントクラウドにも採用されている「さくらのクラウド」を採用。公共分野でも利用実績のある国産クラウドをベースとしています。



政府ガイドラインを踏まえた"迷わない"設計

政府が公表している各種ガイドラインを参考に、サーバー構成・運用・セキュリティ要件をあらかじめパッケージ化。要件を一から検討する負担を軽減します。



RFPの要件整理からサポート

複数の自治体案件で培った知見を活かし、RFPの内容を確認しながら必要となるサーバー要件の整理や構成のご提案までサポートいたします。



基準としているガイドライン

総務省

地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和7年3月版)



サイバーセキュリティ戦略本部

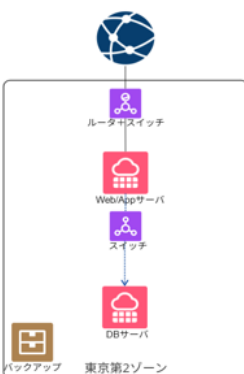
政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準(令和7年度版)



プラン内容

①ミニマムプラン(小規模サイト向け)

【構成イメージ】



【対象例】

- ・市町村サイト/観光サイト/LP系サイト
- ・情報公開サイト
- ・小規模CMS運用サイト

【基本プラン内容】

- ・サーバー構築
- ・SSL証明書設定 1FQDNまで
- ・バックアップ設定
- ・24時間365日監視保守(MSPアシスト)
- ・不正アクセス対策(攻撃遮断くん、Vision One)
- ・ウイルス対策(Vision One)

【ガイドライン】

総務省ガイドライン準拠

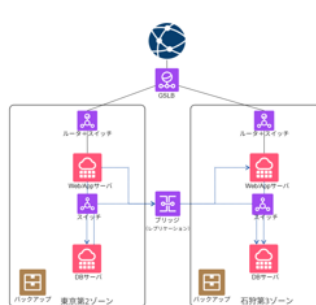
【料金】

初期費用:600,000円～(税抜)

月額費用:175,000円～(税抜)

②スタンダードプラン(一般的な自治体サイト向け)

【構成イメージ】



【対象例】

- ・自治体公式サイト/教育委員会サイト
- ・防災サイト
- ・複数部署利用のCMS運用サイト

【プラン内容】

- ・サーバー構築(冗長化)
- ・SSL証明書設定 1FQDNまで
- ・バックアップ設定
- ・24時間365日監視保守(MSPアシスト)
- ・不正アクセス対策(攻撃遮断くん、Vision One)
- ・ウイルス対策(Vision One)
- ・改ざん検知(Vision One)
- ・脆弱性診断

【ガイドライン】

総務省ガイドライン準拠
政府統一基準を参考

【料金】

初期費用:1,200,000円～(税抜)

月額費用:330,000円～(税抜)

※あくまでもベースプランのため、追加要件に対するカスタマイズも可能です(別途費用) ※ 本パッケージプランの最低ご利用期間は6ヵ月です ※ さくらのクラウドの価格変動に伴い、本パッケージプランの料金も変更になる可能性がございます

[詳しくはこちら](#)

気になる点がございましたら、お気軽に弊社営業担当までお問合せください！

お客様ポータル「Webマニュアル」公開のご案内

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、お客様ポータルをスムーズにご活用いただけるよう、「Webマニュアル」を公開いたしました。Webマニュアルは、お客様ポータルにログインいただき右上「マニュアル」よりご利用いただけます。

お客様ポータルはこちら ➡



本マニュアルでは、お客様ポータルの基本的な操作方法から、いざという時のトラブル解決まで幅広く網羅しております。



Webマニュアルの主な内容

① はじめに

ログイン方法、対応ブラウザ、最初に行うべき設定のご案内。

② 各機能について

- ・サービスデスク直通フォームや対応履歴の確認。
- ・サーバー情報、ドメイン、SSL/TLS証明書の管理・新規取得。
- ・請求履歴の確認やファイルアップロードの利用。
- ・緊急連絡先の登録や子アカウントの管理。

③ ログイントラブル時に

パスワードリセットや二要素認証ログインのリカバリ手順。

①

②

③



ご利用にあたって

まずは「お客様ポータル機能一覧」から各機能の概要をご確認いただき、「最初に行う設定」をご一読いただくことをお勧めいたします。また調べられない項目が見つからない時は「Webマニュアル」左上の「Search docs」よりキーワード検索が可能です。



※ポータルアカウントの権限設定により、ご利用いただける機能が異なる場合がございます。表示されていない機能についてのご相談は、担当営業までお気軽にお問い合わせください。

今後とも、お客様の運用管理をより便利にするサービスの提供に努めてまいります。

続きネットアシストをよろしくお願い申し上げます。



フロンティアAIについて

フロンティアAIとは、最先端の大規模言語モデル(LLM)や生成AIなど、高度な推論能力と幅広い知識を備えた最先端の人工知能モデルの総称です。

企業名	フロンティアAI
OpenAI	GPT-5、o3
Google	Gemini 2.5Pro
Anthropic	Claude 4シリーズ、Claude Mythos

従来のAIが特定の用途に特化していたのに対し、フロンティアAIは文章作成、プログラミング、データ分析、画像解析など、さまざまな分野のタスクを高い精度で実行できる汎用性を持っています。この技術は業務効率化や生産性向上に大きく貢献する一方で、サイバー攻撃にも悪用されるリスクが急速に高まっています。特にフロンティアAIは、膨大なソースコードやシステム構成を短時間で解析し、ソフトウェアやWebアプリケーションに潜む脆弱性を効率的に発見できるため、攻撃者が利用した場合、これまで以上に短期間で高度な攻撃を実行できる可能性があります。そのため、「脆弱性が存在すること」よりも、「脆弱性を放置していること」がこれまで以上に大きなリスクとなっています。



対策① まずは現状把握(脆弱性診断)

攻撃を防ぐためには、まず自社システムにどのような脆弱性が存在しているかを把握することが重要です。下記の実際にあったケースは決して珍しいことではありません。

実際にあったケース

気付いていない
脆弱性が残っている

修正パッチの
適用漏れがある

設定不備が
長期間放置されている

ネットアシストでは、サーバーやWebサイトの健康診断として、以下の脆弱性診断サービスをご提供しています。



脆弱性診断サービス

サーバー/Webサイトの健康診断

プラットフォーム診断 …… 80,000円~/サーバー(税抜)

Webアプリケーション診断 …… 100,000円~/FQDN(税抜)

※診断代行は別途費用

詳しくはこちら ➡



対策② 修正パッチ適用までの運用管理

脆弱性が見つかったとしても、修正パッチを迅速に適用できなければ攻撃を受けるリスクは残ったままです。近年では、脆弱性情報の公開から数日～数時間で攻撃が始まるケースもあり、継続的な運用管理がこれまで以上に重要になっています。

ネットアシストの「セキュリティアップデートサービス」のサポート内容

最新の
脆弱性情報の収集

リスク評価

修正パッチの適用

適用後の確認

これらを継続的にサポートし、お客様の運用負荷を最小限に抑えながら、安全なシステム運用を支援します。



セキュリティアップデートサービス

初期費用 …… 30,000円～(税抜)

月額費用 …… 10,000円～(税抜)

※MSPアシスト/ゴールドプラン以上のご契約が必要です

詳しくはこちら →

AIの進化によって、攻撃者はこれまで以上に効率的かつ高度な攻撃を行えるようになっていきます。重要なのは、「攻撃されてから対応する」のではなく、脆弱性を早期に発見し、適切に管理・修正することです。ネットアシストでは、「脆弱性診断」と「継続的なアップデート運用」を組み合わせることで、お客様のシステムを最新の脅威から守るためのセキュリティ対策をご提案しています。

現場のプロ目線で 国産クラウドを深堀り!

さくらのクラウドを「活かす情報」が、**ここにある。**

さくらのクラウドラボ
by NET ASSIST

サイトを見る →

今月のおすすめ記事!

HTTP/2 Bomb

(CVE-2026-49975) とは?

さくらのクラウドで作る
検証サンドボックス

AI時代の脆弱性検証環境



ネットアシストはさくらインターネットの最上位パートナーとして、豊富な運用ノウハウと実践的な技術力を活かした支援体制を確立しています。



NET ASSIST
24/7 Guardian Deity

株式会社ネットアシスト

〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-13-5 池袋サザンプレイス 7F

<https://www.netassist.ne.jp/>